

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和2年 3月 3日 (火)

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備

### 3 確認項目

既設多核種除去設備出口移送Aスキッドでの漏えい状況

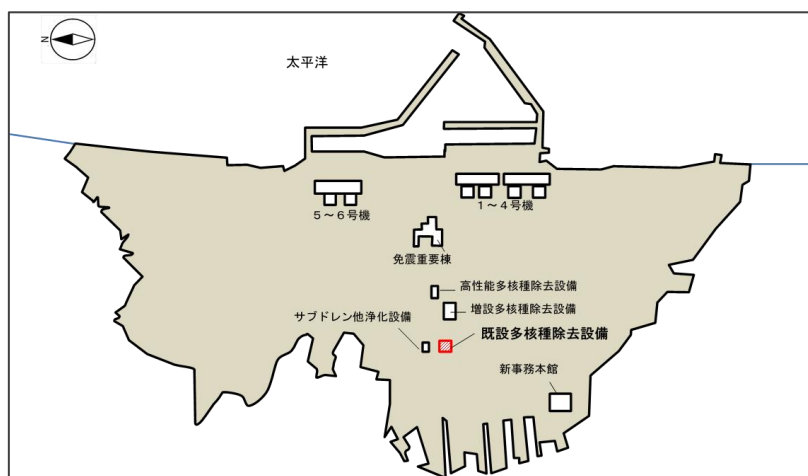
### 4 確認結果の概要

3月2日22時43分頃に既設多核種除去設備出口移送Aスキッド漏えい警報が発報し、東京電力社員による現場確認の結果、点検のため弁を取り外した箇所から漏えいが発生したことが判明したことから、状況を確認した。

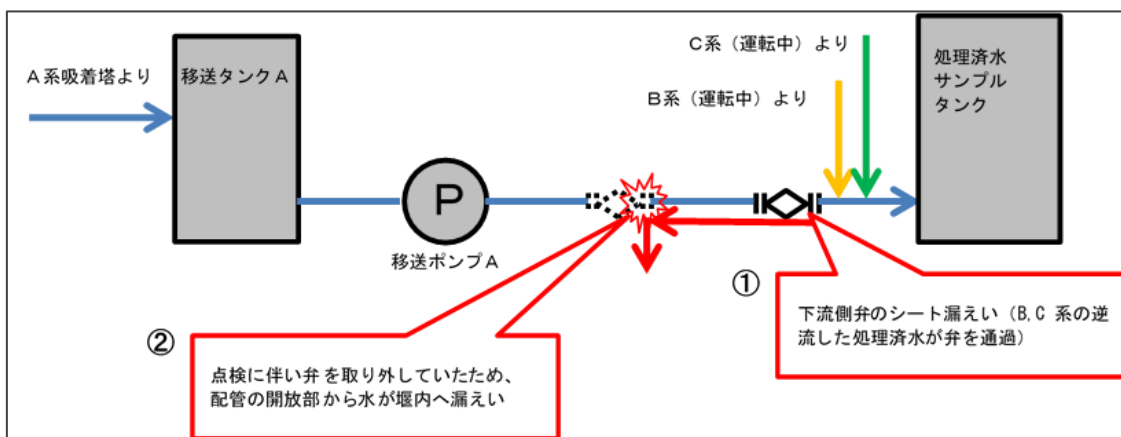
なお、漏えい範囲は約6m×2.5m×1mm(堰内)、約20cm×20cm×7cm(堰内溜め桝)であり、漏えい水は設備内の堰に留まっていることから外部への影響はない。

- ・現場確認時、点検のため取り外されていた弁の復旧作業が行われていた。なお、漏えい水の拭き取りは完了していた。(写真1)
- ・東京電力によると、漏えいが発生した原因としては、弁点検のため漏えい箇所の下流側の弁を閉止していたが、下流側の弁のシート漏えい<sup>※</sup>により弁を取り外した箇所から水が漏えいしたものであり、再発防止対策として、弁の取り外し時にはシール性のある閉止フランジを取り付けるとのことであった。(図2)

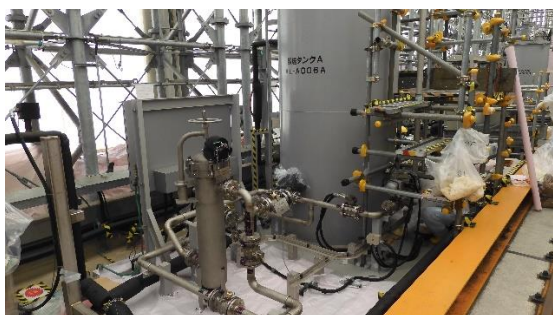
※ シート漏えい：弁座と弁体が密着する面(シート面)に傷や摩耗等によって隙間が生じると弁閉止時に漏れが発生する事象



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図 2) 既設多核種除去設備出口移送 A スキッドの漏えいについて



(写真 1 - 1)  
既設多核種除去設備出口移送 A  
スキッド



(写真 1 - 2)  
漏えい箇所の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。